

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
森川 幸紀雄			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	HP (ホスピタリティ)	110 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	ブライダル全般についての基本的な知識を総合的に学習する授業です。ブライダルの歴史と慣習。挙式のスタイル、結婚披露宴のスタイル、披露宴進行と演出などの理解を深めます。さらにはホテルにおける婚礼部門の位置づけ、組織およびスタッフの役割を理解し、その業務内容についても学習します。また、この授業ではDP「ディプロマポリシー」に記載のある、「基礎的知識」を身に付けており、学んだことを発信できる能力を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 [遠隔] オリエンテーション、授業の進め方など オリエンテーション、授業の進め方、ブライダルについて 予習 (時間) : シラバスで授業内容を理解する。(120) 復習 (時間) : 今後のスケジュールの確認 (120)</p> <p>第2回 [遠隔] ブライダルとは何か。 ブライダルとは何か、 ・ブライダルの定義、ブライダルの今日的な解釈 予習 (時間) : テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 「ブライダル総論」p. 3～4を読む。(120)</p> <p>第3回 [遠隔] ブライダル産業 ブライダルビジネス ・プレ・ブライダルマーケット、ハネムーンマーケット、新生活準備マーケット 予習 (時間) : テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 「ブライダル総論」p. 5～14を読む。(120)</p> <p>第4回 [遠隔] ブライダルの歴史、世界の結婚事情 ブライダルの歴史、世界の結婚事情 (キリスト教、イスラム教、仏教など) 世界各地の婚礼 (アメリカ、フランス、イギリス、ハワイなど) 予習 (時間) : テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 「ブライダル総論」p. 19～30を読む。(120)</p> <p>第5回 ブライダル慣習・由来 日本の慣習と由来、欧米の慣習と由来 予習 (時間) : テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 「ブライダル総論」p. 35～62を読む。(120)</p> <p>第6回 ブライダルの分類 ブライダルの分類、婚礼の種類、挙式スタイル (神前、キリスト教、人前など) 披露宴の種類 予習 (時間) : テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 「ブライダル総論」p. 67～93を読む。(120)</p> <p>第7回 ブライダル外部講師による授業 ブライダルコーディネーター、ホスピタリティについて。 ・ブライダルコーディネーターという仕事、群馬県のブライダル施設を知る。 予習 (時間) : ブライダルコーディネーターについて調べる。(120) 復習 (時間) : 講義内容をまとめる。レポートを書く。(120)</p> <p>第8回 ブライダルにまつわる慣習 ・婚礼部門の組織、その役割、婚礼部門の組織、スタッフの役割 予習 (時間) : テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 「ブライダル総論」p. 105～113を読む。(120)</p> <p>第9回 葬儀・法事とは何か 宗教による分類、形態、進行とマナー 予習 (時間) : テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 「ブライダル総論」p. 22～30を読む。(120)</p> <p>第10回 婚礼に関する参考資料 日本の冠婚葬祭、結婚記念日、SNS 話用、ゲスト交流など。 予習 (時間) : テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。(120) 復習 (時間) : 「ブライダル総論」p. 131～139を読む。(120)</p> <p>第11回 ブライダル産業の変遷と婚約指輪 スタッフの役割 ・商品企画のスタッフ ・セールスのスタッフ ・ブライダルサロンスタッフ ・ブライダルサービススタッフ</p>

	<p>予習（時間）：テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。（120） 復習（時間）：「ブライダル総論」p.127～134を読む。（120） 〔課題〕ブライダルスタッフ、商品、（模擬）プレゼンテーション</p> <p>予習（時間）：テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。（120） 復習（時間）：ブライダル全般の理解、認識。（120） 〔課題〕ブライダルスタッフ、商品、（模擬）プレゼンテーション</p> <p>予習（時間）：テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。（120） 復習（時間）：ブライダル全般の理解、認識。（120） 〔課題〕ブライダルスタッフ、商品、（模擬）プレゼンテーション</p> <p>予習（時間）：テキストの指定箇所を自己学習し、疑問点を抽出する。（120） 復習（時間）：ブライダル全般の理解、認識。（120）</p> <p>ブライダル総論まとめ、定期試験について ブライダル総論まとめ、定期試験について説明。</p> <p>予習（時間）：「ブライダル総論」のすべてのページを読み直し、理解していない内容を抽出。（120） 復習（時間）：ブライダル全般の理解、認識。（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP「ディプロマポリシー」に記載のある、「基礎的知識」を身に付けており、学んだことを発信できる能力を身に付ける。 【身に付くスキル】学び続ける姿勢・発信力
到達目標	ブライダルの基礎知識と業界動向の理解を深めることが出来る。 日本のウェディングの成り立ち及び世界各国のウェディング事情を習得できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テスト等の全体的な注意点などを授業で説明します。
履修上の注意	①無断欠席、遅刻、授業中の私語、携帯電話は電源OFFにし、カバンにしまうこと。 ②他の学生への授業の妨げや授業を妨害する行為は退席を指導する場合があります、その際は欠席とします。 ③受講生は、ホスピタリティを学ぶ学生としての自覚と積極的な学修態度を必要とします。 ④授業を欠席した場合は、必ず授業内容をフォローし、配布物をとりに来るようにして下さい。 ⑤欠席（公欠含む）6回で履修放棄とみなすので注意すること。 ⑥ホテル・ブライダルコースの学生は履修することが望ましい。 ⑦小テスト（授業内容確認）、レポートなどの提出物は締め切り厳守とし、必ず予復習を行うようにすること。
成績評価の方法・基準	定期試験、レポート 50% 課題、小テスト、ノート、プレゼンテーション 50%
教科書	ブライダル総論 出版社：一般社団法人日本ホテル教育センター 改定 2018年 価格：2700円（税別）
参考書・教材	必要に応じて配布
備考	講義科目／実務家教員による授業 2020年度は12, 13, 14回目を課題として行う。 上記の各回の課題内容については、資料の配信及び内容をMELLYなどで行い、レポート作成や課題説明は前の授業時やその他随時行う。 「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は、本学の感染状況への対策を踏まえて「最終レポート」で代替することがある。その際はMELLY及び授業で実施方法と評価基準を受講生に知らせる。
教員との連絡方法	MELLYでの授業連絡をするので、各自セッティングしておくこと。その他メール及びオフィスアワー